

お知らせ

 **松江国道事務所**
Matsue National Highway office

 **三次河川国道事務所**
Miyoshi office of River and National Highway

資料提供

島根県政記者会、広島県政記者クラブ、
合同庁舎記者クラブ、中国地方建設記者クラブ、
三原新聞記者クラブ、尾道市記者クラブ、
福山市政記者クラブ、府中市役所記者クラブ、
三次市記者クラブ

平成27年3月6日

中国横断自動車道「尾道松江線」の整備効果 ～山陽・山陰の地域産業を支え、新たな事業展開が始まる～

平成27年3月22日(日)に中国横断自動車道「尾道松江線」が全線開通します。このたび、これまで開通した尾道松江線の整備効果について、とりまとめましたので、お知らせします。

【主な整備効果】

○産業振興

・沿線地域の企業立地の促進、新たな雇用の創出、事業所の移動コスト削減や新たな事業展開の検討が進むなど、地域の事業活動に貢献。

○観光振興

・島根県東部や備北・備後地域の観光客数が増加しており、観光者の旅行機会や滞在時間の増加など、旅行内容の充実化が図られています。

【利用状況】

- ・尾道松江線の交通量(H26.10)は、平日3,200～7,000台/日、休日5,000～13,800台/日となり、休日は年々増加傾向にあります。
- ・尾道松江線と既存現道を合わせた断面交通量は、整備前に比べ平日・休日とも増加傾向にあります。

問合わせ先

国土交通省 中国地方整備局 松江国道事務所
副所長 石川 庄嗣(いしかわ しょうじ)
【担当】計画課長 山本 俊彦(やまもと としひこ)
島根県松江市西津田2-6-28
TEL:(0852)26-2131(代表) FAX:(0852)25-9438

国土交通省 中国地方整備局 三次河川国道事務所
副所長(道路担当) 田中 敏彦(たなか としひこ)
【担当】調査設計課長 守山 和彦(もりやま かずひこ)
広島県三次市十日市西6-2-1
TEL:(0824)63-4121(代表) FAX:(0824)64-2240

尾道松江線のこれまでの開通による効果

主な内容		ページ	
1. 事業概要		1	
2. 整備効果	産業振興	企業進出の活発化・新たな雇用を創出しています	2
		地域産業の交流が活発化し、地域経済の発展に貢献しています	3
		移動コストの縮減など地域経済の好循環に貢献しています	4
		地域の主要な産業を繋いでいます	5
	観光振興	広域周遊が可能となり、観光産業が活性化しています	6
		周遊するツアーが増加しています	7
		旅行の内容が充実し、満足度が向上しています	8
	住民生活	都市部と中山間地域の暮らしやすさの格差解消などが期待されています	9
		地域間の交流が年々増加しています	10
		高速バスの利便性が向上しています	11
		搬送患者の負担を軽減するなど救急救命活動を支援しています	12
	地域活性化	国道54号沿線地域への活性化に向けた取組みが行われています	13
		道の駅「たかの」が地域の活動拠点となっています	14
3. 交通量の推移			
1)尾道松江線本線の交通量推移		15	
2)断面交通量の推移		16	
3)県境断面交通量の推移		17	
【参考】アンケート調査の実施概要（H26）		18	

1. 事業概要

尾道松江線

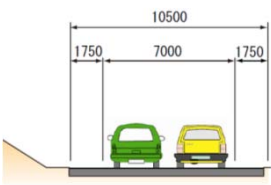
- ・平成25年3月の三次東JCT・IC～吉田掛合IC開通により、島根県東部と広島県が高速道路ネットワークで結ばれました。
- ・平成27年3月22日(日)に、世羅IC～吉舎ICが開通することで、尾道～松江間が全線開通します。

事業概要

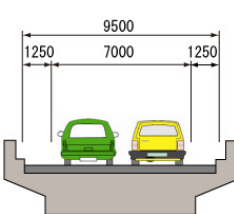
	中国横断自動車道 尾道松江線 (無料区間)
起 終 点	起点：広島県尾道市美ノ郷町三成 終点：島根県雲南市三刀屋町三刀屋
計画延長	110.9km
道路規格	第1種第3級
設計速度	80km/h
車 線 数	2車線

標準断面図

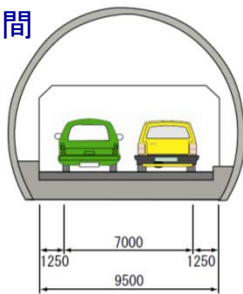
■ 土工区間



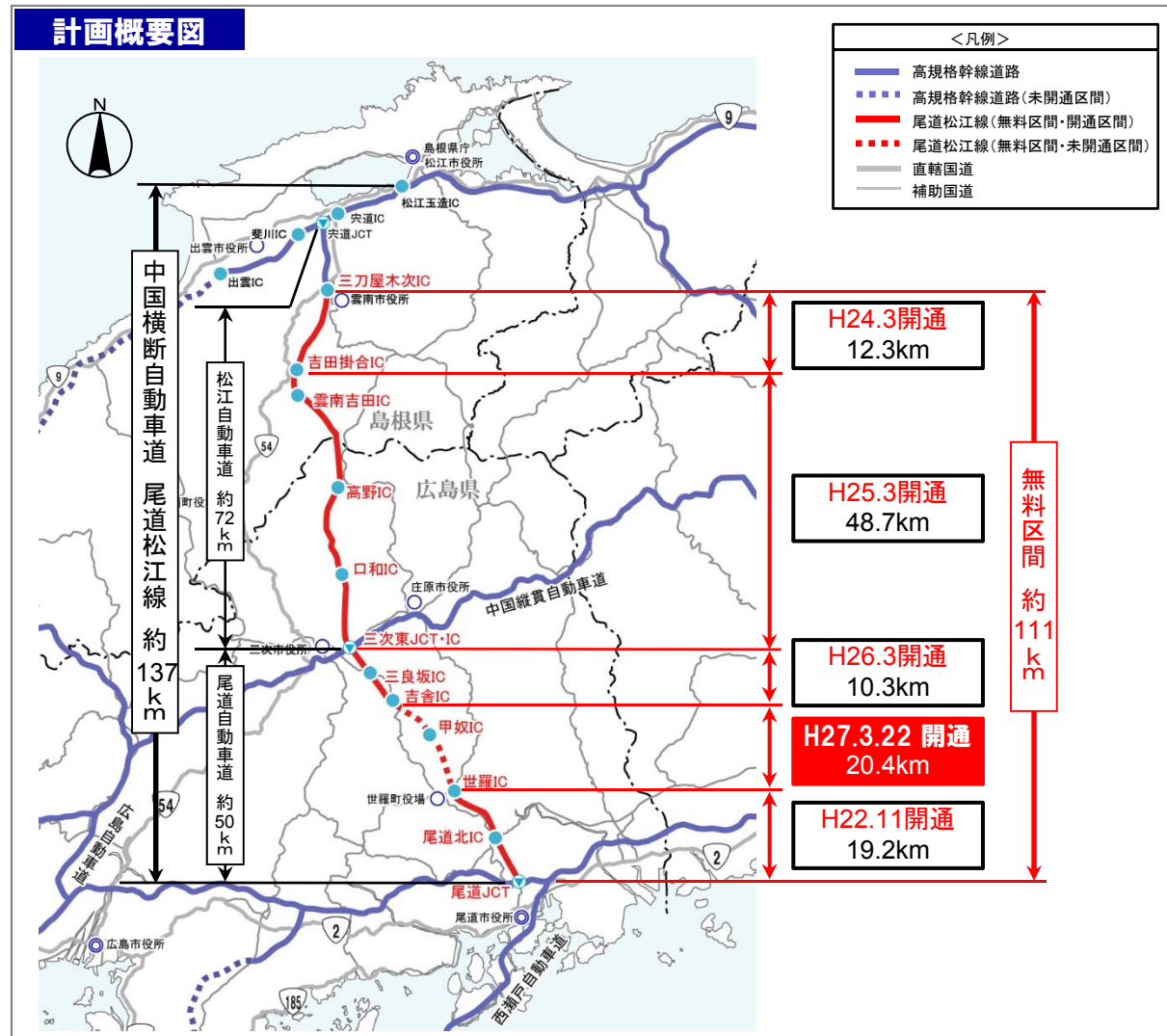
■ 橋梁区間



■ トンネル区間



計画概要図



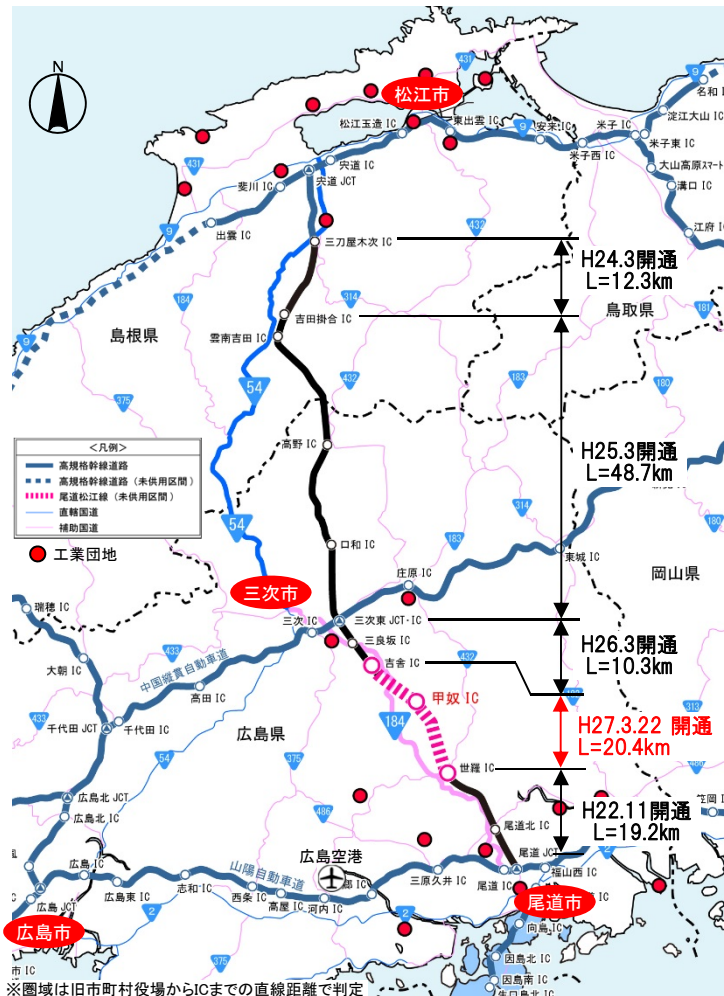
※尾道JCT～本線料金所間(0.9km)は有料となります。

2. 整備効果(産業振興)

～企業進出の活発化・新たな雇用を創出しています～

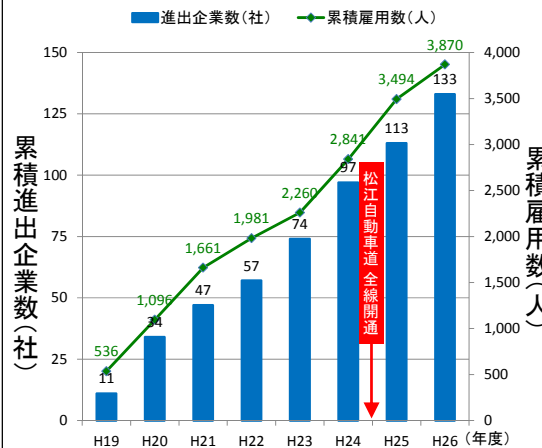
- ・尾道松江線の沿線では、工業・産業団地の新設・増設が進むなど、企業の進出が活発化しています。
- ・H19年度以降に尾道松江線沿線に進出した企業は延べ133社であり、約3,900人の雇用を創出しています。
- ・全線開通により、更なる企業活動の活発化が期待されます。

▼工業団地位置図



高速道路の開通を見越し企業が多数進出

▼沿線の企業進出・雇用者数の変化状況



沿線・尾道市(一定規模(投下資本5千万以上の工場等・H26は見込み含む)の新設・増設数、三次工業団地(H27.4見込み含む)の新設数、島根県東部(安来市、松江市、出雲市、斐川町、雲南市、奥出雲町、飯南町・H27.1時点)の新設・増設数
資料: H27.1尾道市・三次市より提供、島根県HPより

沿線自治体の声



・地元立地企業からは、尾道松江線の開通により、**物流面での時間短縮やコスト削減、取引拡大等の面で山陽方面への行き来が便利になった**と聞いています。
・現在、山陰自動車道斐川IC近くに**出雲斐川中央工業団地(仮称)を造成中(約16ha)**で、製造業からの問い合わせ件数が4件、現地視察が3件ありました。(出雲市 産業振興課)



・企業立地の受け皿となる企業団地が残り少なくなってきたことに加え、**尾道松江線の全線開通による効果を活かした企業立地を促進するため、新たに神原企業団地(約3ha)の整備**に向けた事業を推進しています。(雲南市 産業推進課)

H26ヒアリング結果より

企業立地が進み、新たな企業団地を整備

尺の内流通業務団地(雲南市)



尾道松江線の整備を見据え、H19以降、3社が進出、1社が増設(賃貸含む)。
【利用率99%(H26現在)】



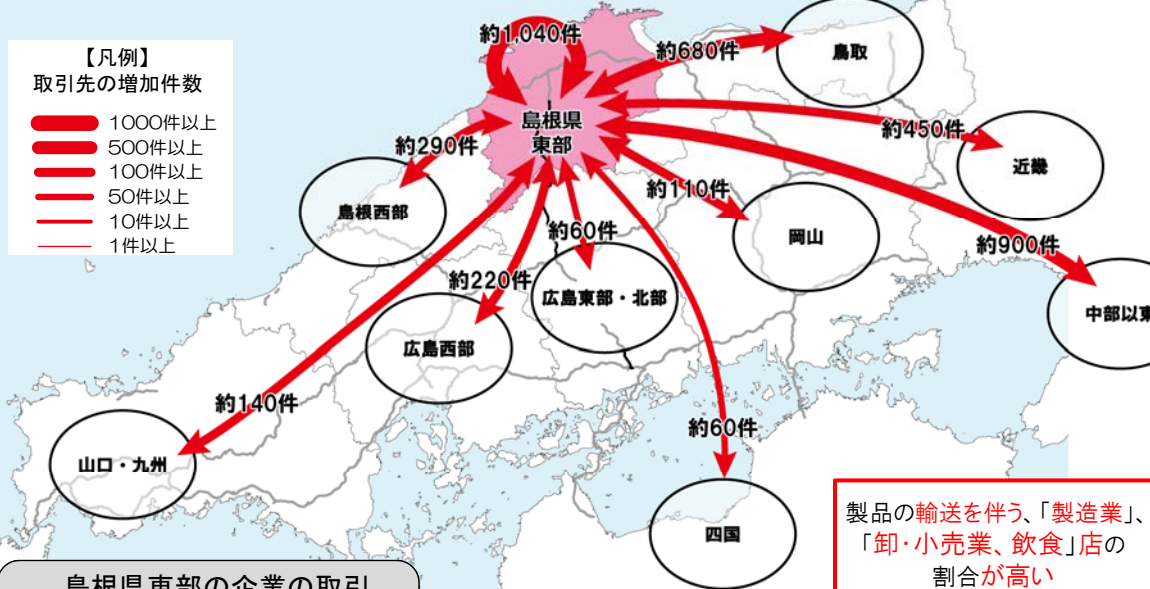
2. 整備効果(産業振興)

～地域産業の交流が活発化し、地域経済の発展に貢献しています～

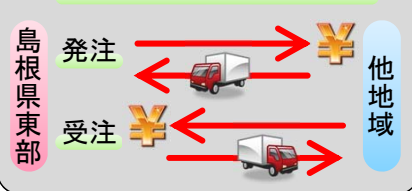
- ・これまでの開通により、地域間の企業取引量が増加し、企業活動が活発化しています。
- ・心理的、時間的距離が小さくなったことから、山陰・山陽が連携した企業商談会が多数開催され、企業の新たなビジネスパートナーの開拓が進んでいます。

島根県東部の企業間取引数の変化(H21→H26)

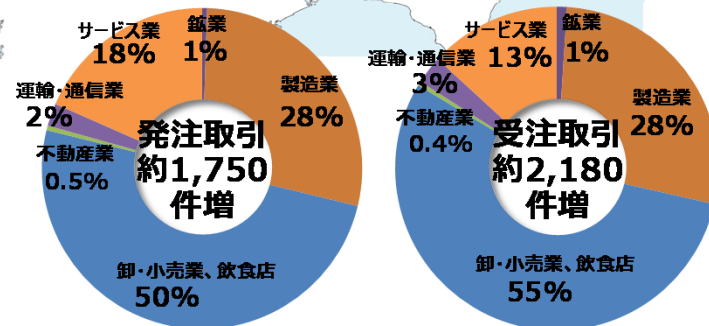
▼島根県東部の企業の新たに増えた企業間取引数(発注・受注の合計)



島根県東部の企業の取引



▼取引先を増やした産業分類割合(島根県東部の企業)



※尾道松江線の整備との関連性が高いと想定した産業分類(漁業、鉱業、製造業、運輸・通信業、卸売・小売業、飲食店、不動産業、サービス業)に属する企業の取引データの集計

※(出所)帝国データバンクの企業データ。事業所単位ではなく本社単位の調査であり、中小企業が中心で、大企業のデータは対象となっていない。

※島根県東部の各市町内での取引は計上していない。

ビジネスパートナー開拓に向けた取り組み

・尾道松江線の全線開通をにらみ、取引を開拓するビジネスマッチング商談会が多数開催



H24. 2: 松江市・尾道市 姉妹都市提携調印式
他、商工会議所等で意見交換会、懇談会を継続実施
～ 松江自動車道全線開通 ～

- H25. 7: 尾道・松江ものづくり企業ビジネス交流会 他
- H25. 9: 福山・松江ものづくり企業合同懇談会 他
- H25. 11: 中海・宍道湖・大山圏域ものづくり連携ビジネスマッチング商談会(備後地域より12社)
- H26. 2: 福山第4回ビジネス交流フェア(松江から27社)
- H26. 10: 中海・宍道湖・大山圏域ものづくり連携ビジネスマッチング商談会(山陽方面等:25社)
- H26. 11: 福山・松江ものづくり企業ビジネス交流会

商談会の参加者の声



ビジネスマッチング商談会を契機に、松江市、安来市、米子市などの7社との取引を行っている。14年10月期決算の売上高は前期比で3割増、利益は3倍になった。
(H26(株)内海機械(広島県府中市)へのヒアリング結果より)

開通を契機に新たな取引・商談が開始!



今迄は無かった広島企業との取引が始まった。
(島根県松江市 製造業、株式会社 コーク)



以前は来なかった広島のメーカーさんとの商談が可能になった。
(島根県出雲市 卸売業)

H26事業者へのアンケート調査結果より

2. 整備効果(産業振興)

～移動コストの縮減など地域経済の好循環に貢献しています～

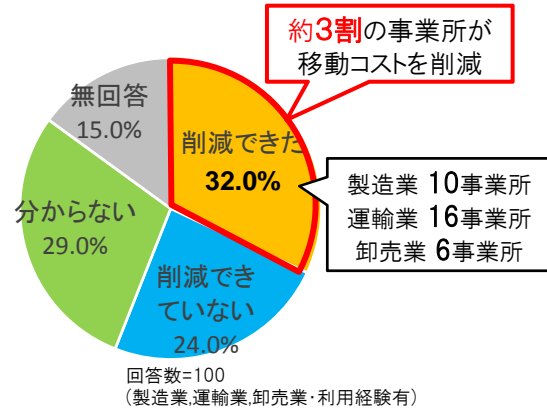
・これまでの開通により、移動コストの削減や取引先等への訪問・巡回の効率化を半数以上の企業が実感しています。

※事業所へのアンケート調査結果より(以下同様)

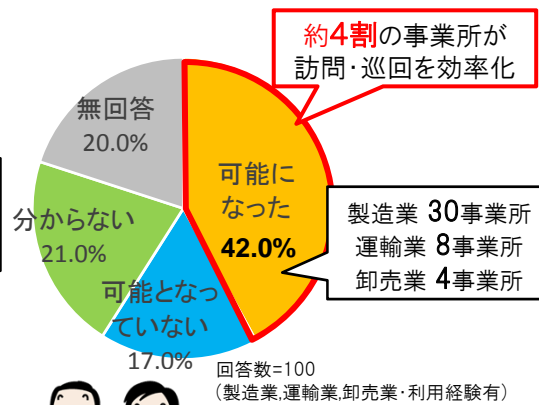
・尾道松江線の開通を契機とした新たな事業展開を検討する事業所もあり、全線開通が地域の事業活動に一層貢献することが期待されます。

地域の事業活動に貢献

▼尾道松江線開通による事業活動への影響
移動コストを削減できた



取引先等への効率的な訪問・巡回が可能となった



地域の声(これまでの開通による効果)

<効率的な訪問・緊急時の出張も容易に！>

- ・年1～3回の訪問だったが現在は**毎月の訪問が出来る様になった**。(島根県松江市 運輸業)
- ・取引先(広島)への**緊急の出張が容易**にできた。(島根県松江市 運輸業)
- ・取引先へ**こまめに訪問する機会が増えた**ことにより、**新たな製品を多く受注**することが出来た。(島根県松江市 製造業)

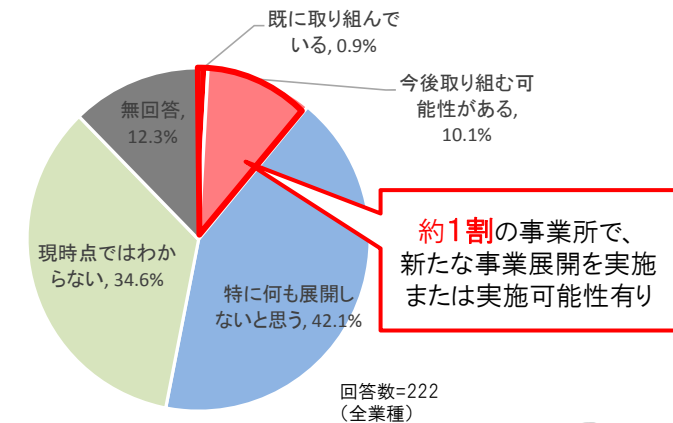
<移動コストが削減！>

- ・**燃費が向上、労働時間が短縮**した。(島根県出雲市 運輸業)
- ・庄原～高野間の配達時間が早くなったので、**他地域の配達も可能**となった。(広島県三次市 運輸業)
- ・停止やアップダウン、カーブ等が少なく、**燃費が20%削減**した。(島根県出雲市 運輸業、ニッセイ運輸株式会社)

H26事業者へのアンケート調査結果より

開通を契機に新たな事業展開を検討

尾道松江線の整備により、新たな事業展開を行う可能性



地域の声(新たな事業展開の予定等)

- ・尾道松江線沿線の開通を契機に、地域連携が始まった。**人・情報の連携は、物流にも良い影響を与え**ると思います。(島根県出雲市、道の駅「湯の川」)
- ・尾道のイベントなどへ**出店し、商売拡大を計画**している。(島根県飯南町 製造業、株式会社 赤名酒造)
- ・**山陽、九州方面の客先開拓を計画**。(島根県松江市 製造業、株式会社 テクノア)

H26事業者へのアンケート調査結果より

2. 整備効果(産業振興)

～地域の主要な産業を繋いでいます～

- ・出雲市で生産される「綿糸」が、愛媛県今治市の主要産業である「タオル」の原材料として利用され、商品の輸送に尾道松江線が利用されています。
- ・尾道松江線の全線開通により、山陰地域と山陽地域だけでなく、しまなみ海道で繋がる四国地域などとの繋がりも強くなることが期待されます。

綿糸生産国内トップ企業と国内有数のタオル生産地“今治市”を繋ぐ

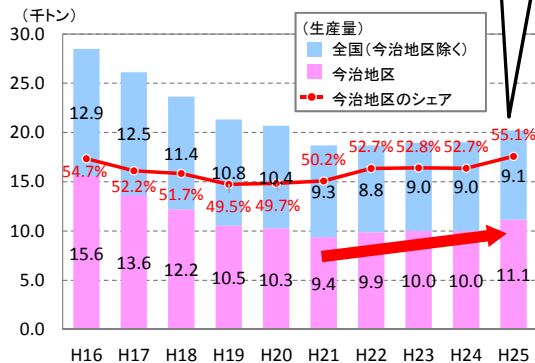
【KBツツキ株式会社出雲工場】

- ・国内で生産される綿糸の約4割を出雲工場で製造・出荷しています。(国内シェア1位)。
- ・今治のタオル産業が、ここ数年大きく躍進し、当社の出荷量も増加しました。
- ・当社でも、今治で自社糸を使ったオリジナルのタオルを製造、完成品を当社に再搬入し、出雲市内の店舗等で販売しています。
- ・全線開通で、今治方面への輸送時間がより短縮されることに期待しています。

H26ヒアリング結果より

国内タオル生産量及びシェアの推移

今治のタオル生産量・国内シェアは増加傾向



資料: 四国タオル工業HP H25統計表を加工掲載



出雲ブランド認定製品「人工畳表」の製造・出荷を支える

【積水成型工業株式会社】

- ・国内で生産される人工畳表材の約3割を出雲工場で製造し全国に出荷しています(国内シェア2位)。
- ・機能やデザイン性から市場ニーズが高まりつつあり、出雲ブランド製品の認定を受け、平成26年10月には工場を増設しました。
- ・尾道松江線は福山方面への出荷時や、製造工程でかかせない道路であり、約2台/週・上下線の大型貨物車が尾道松江線を利用しています。
- ・関連工場への製品輸送や出荷等の物流面のほか、山陽側への出張利用など、時間短縮やコスト削減を実感しています。

H26ヒアリング結果より

【今治タオル製造企業(複数企業)】

- ・品質管理に優れた国内工場からの直送のため、品質が安定しており、タオルの製造にはかかせない仕入れ先です。
- ・大半が高速道による陸上輸送のため、輸入品と比較し荷傷みの心配がありません。
- ・全線開通で、物流面はもとより、綿糸生産工場への視察や技術研修などに参加しやすくなり、販売エリアの拡大にも期待しています。

H26ヒアリング結果より

2. 整備効果(観光振興)

～広域周遊が可能となり、観光産業が活性化しています～

- ・これまでの開通により、島根県東部や備北・備後地域の観光地を訪れる観光客数が増加しています。
- ・全線開通の時間短縮により、旅行の広域化に加え、ツアー企画の設定もしやすくなり、多様な観光旅行が可能となることで、観光振興へ寄与することが期待されます。

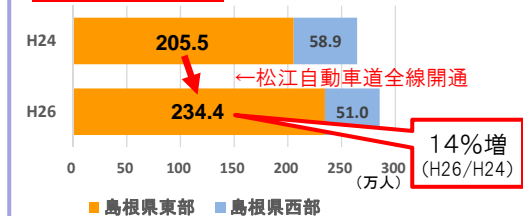
周辺地域の観光入り込み客数

▼観光入り込み客数の変化(H24→H26)



島根県東部・西部地域の入り込み客数

これまでの開通により、島根県東部の入り込み客数は、**14%増加(H26/H24)**しています



資料：島根県観光動態調査結果、尾道市資料、国交省資料(開通前：H24.4-H24.9, 開通後：H26.4-H26.9)

島根県東部：松江市、安来市、奥出雲町、雲南市、出雲市、大田市、島根県西部：浜田市、津和野町 / 写真：しまね観光ナビHP、島根ワイナリーHP、うなん旅ネットHP、ひろしま観光ナビHPより

地域の声(観光施設・旅行会社)

- ・松江道開通後において、道の駅「たかの」、「たたらば壱番地」に休憩を兼ねて立ち寄ることは多くなりました。今後、山陰、山陽の動きが活発化し、旅行が広域化すると思われます。(つばめ交通(株)つばめトラベル)
- ・広島三次ワイナリーとの連携の一つとしてお中元ギフト(ワイナリー商品と飯南町商品)の販売を実施した。今後は、開館した三次市民ホール等とも連携し誘客に努めたい。(飯南町交流物産館 いまるシエ)
- ・高速バスを利用した企画が設定しやすくなりました。今後は、現地(山陰)到着後時間に余裕がある為、現地と連携してツアー企画を行っていくことが重要と考えています。(ひろでん中国新聞旅行(株))



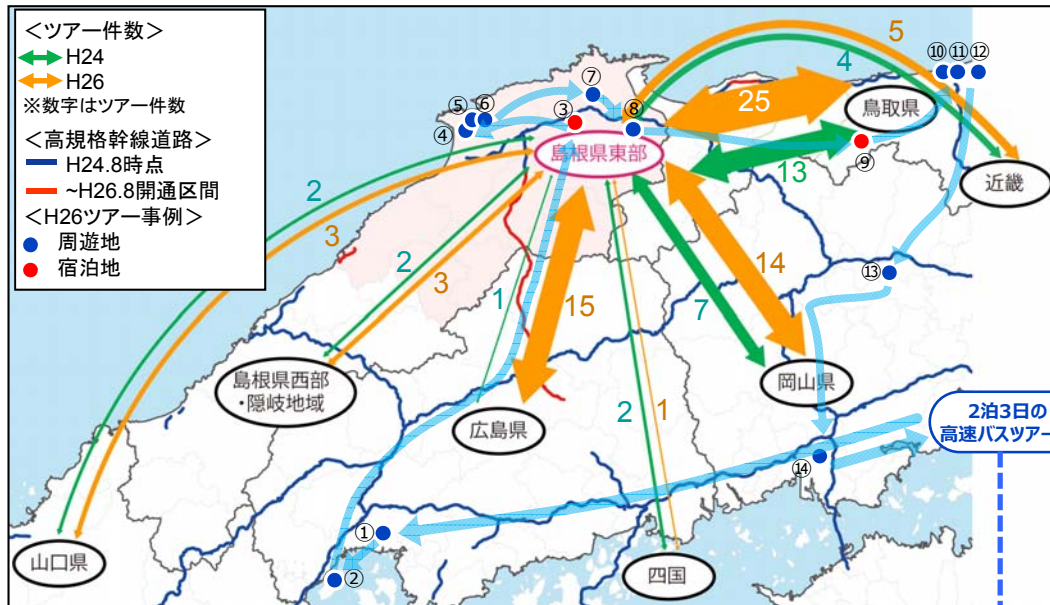
2. 整備効果(観光振興)

～周遊するツアーが増加しています～

- ・これまでの開通により、鳥根県東部と同一の観光ツアー内で周遊する地域は、鳥取県と岡山県に加えて、広島県を周遊するツアーが大幅に増加しており、より広域な観光周遊が行われるようになりました。
- ・全線開通後は、しまなみ海道で繋がる四国地域などとの、更なる周遊エリアの拡大が期待されます。

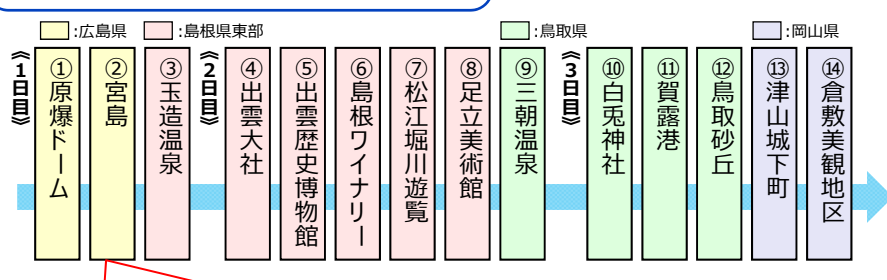
鳥根県東部と広島地域を周遊する旅行ツアーが増加

▼鳥根県東部と同一ツアー内で周遊する地域とのツアー件数



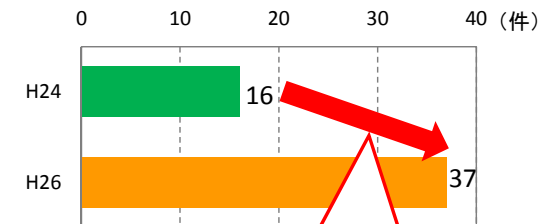
※同一ツアー内で、鳥根県東部と複数の県(地域)を周遊しており、数値合計値は、ツアー件数と一致しない。

尾道松江線開通後の2泊3日の高速バスツアー例



尾道松江線により周遊エリアが拡大
中国4県を巡るツアーが実現

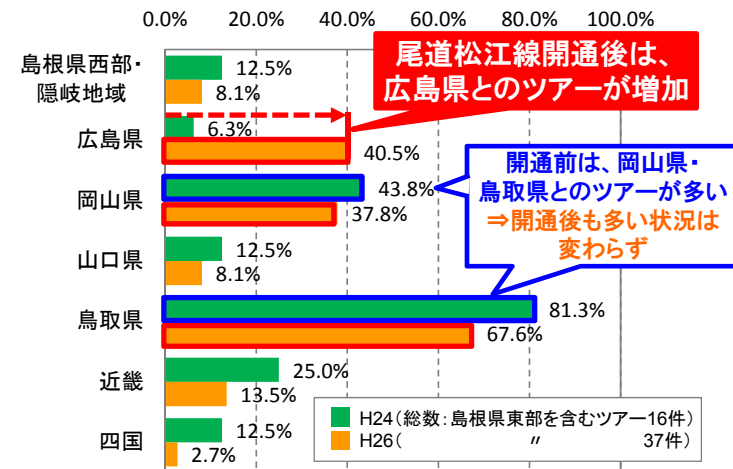
▼鳥根県東部を含むツアー数



ツアー数は2倍以上に増加

※鳥根県東部のみを周遊するツアーも含む (H24:2件、H26:1件)

▼鳥根県東部と同一ツアー内で周遊する地域の割合



尾道松江線開通後は、
広島県とのツアーが増加

開通前は、岡山県・
鳥取県とのツアーが多い
⇒開通後も多い状況は
変わらず

※)JTbで取り扱っている中国地方の国内ツアーの内、添乗員が同行するツアーを対象に集計。
 (H24.8.27時点、H26.8.25時点でのHP掲載情報)
 ※)設定時期、出発着空港、プラン(料金・グレード等)のみが異なる場合は同一のツアーとみなした。
 ※)ウォーキングを主たる目的としたツアーや、鉄道を主たる移動手段とするツアーは対象外とした
 (クルーズ船での観光を含むツアーについては、陸上での移動に関する部分のみを対象とした)。
 ※)鳥根県東部:松江市,安来市,奥出雲町,雲南市,出雲市,大田市,奥出雲町

2. 整備効果(観光振興)

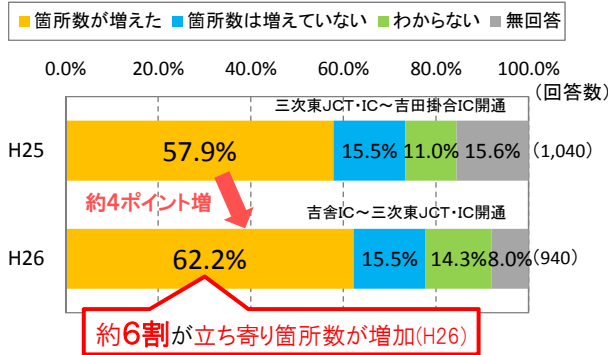
～旅行の内容が充実し、満足度が向上しています～

- ・観光地来訪者のうち、これまでの開通により多数の方が、観光地等の立ち寄り箇所数や滞在時間が増加、旅行の満足度が向上したと回答しており、効果を実感している旅行者が増加しています。 ※道路利用者へのアンケート調査結果より(以下、同様)
- ・旅行に出かける頻度も増加し、全線開通で地域の観光振興の拡大が期待されます。

尾道松江線の開通により、立ち寄り施設数、観光地での滞在時間、旅行の満足度が向上

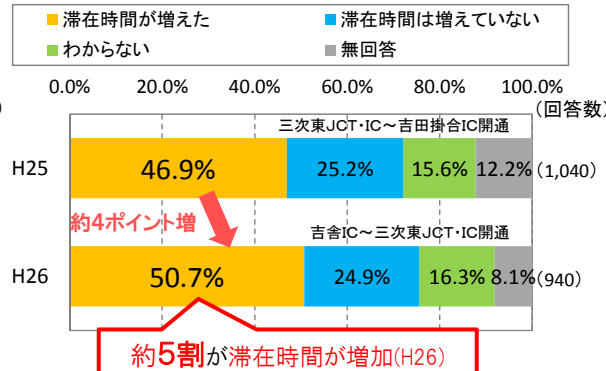
▼開通による立ち寄り箇所数への影響

開通により、立ち寄る観光地の箇所数が増えたと思う



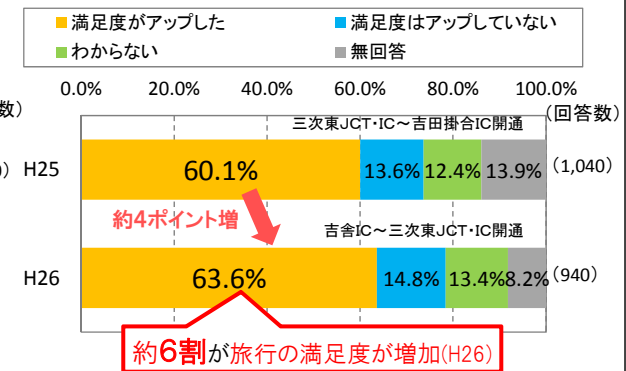
▼開通による滞在時間への影響

開通により、1つの観光地での滞在時間が増えたと思う



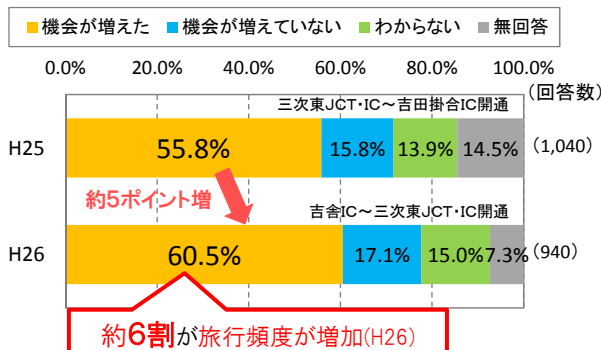
▼開通による満足度への影響

開通により、今回の旅行で充実した観光ができて旅行の満足度がアップしたと思う



▼旅行に出かける頻度への影響

開通により、今まで以上に、旅行に出かける機会が増えたと思う



地域の声(道路利用者)

<移動時間の短縮を実感！>

- ・以前は九州からだど松江～中国道までがすごく遠く感じたのが、今回は三次（中国道）に1時間くらいでつき驚いた。九州からの旅行もふえるのでは。（福岡県久留米市 40代女性）
- ・国道54号で行くより松江道を通る方が時間短縮になり、家に早く帰れるので良かった。（広島県安芸高田市 70代女性）

<外出機会が増加！>

- ・母が三次市内で車イス生活をしているが、外出しようという気分になることが多くなった。（広島県庄原市 60代男性）
- ・出掛ける前の気持ちが、運転の負担が軽くなったため、随分と楽になった。（島根県松江市 40代女性）

<満足度が向上！>

- ・国道54号だけでなく、尾道松江線ができたことで、遊びに行く場所の選択肢が増えるし、時間の短縮により運転のストレスが減ったので、満足です。（山口県防府市 50代男性）



H26道路利用者へのアンケート調査結果より

2. 整備効果(住民生活)

～都市部と中山間地域の暮らしやすさの格差解消などが期待されています～

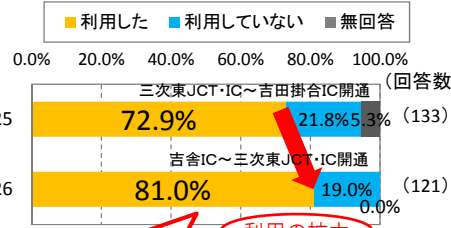
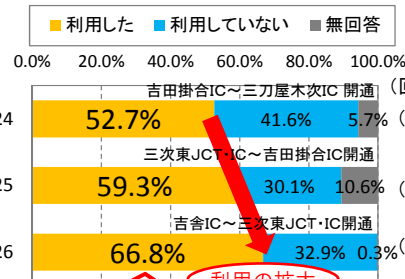
- ・周辺地域にお住まいの約7～8割の方が尾道松江線を利用したことがあり、各区間の開通とともに利用が広がっています。
※住民へのアンケート調査結果より(以下同様)
- ・これまでの開通により、「遠方への観光やショッピングに行きやすくなった」と約6～7割の方が感じており、そのほかにも「家族や友人と会う機会の増加」、「冬季に気軽に出かけられる」等、多様な効果を実感されています。
- ・全線開通による地域への影響として、最後の開通区間周辺である「備北地域」では、「商業の活性化」や「都市部と中山間地域の暮らしやすさの格差解消」などが期待されています。

沿線住民の多くが尾道松江線の利用経験あり

▼これまでの尾道松江線利用経験

【島根県東部の住民】

【備北地域の住民】



約7割の住民が利用経験あり(H26)

平均利用回数は約2.1回/月(回答数=920)

※島根県東部: 松江市、出雲市、雲南市、奥出雲町、飯南町、大田市、安来市、美郷町

利用の拡大

約8割の住民が利用経験あり(H26)

平均利用回数は約3.5回/月(回答数=95)

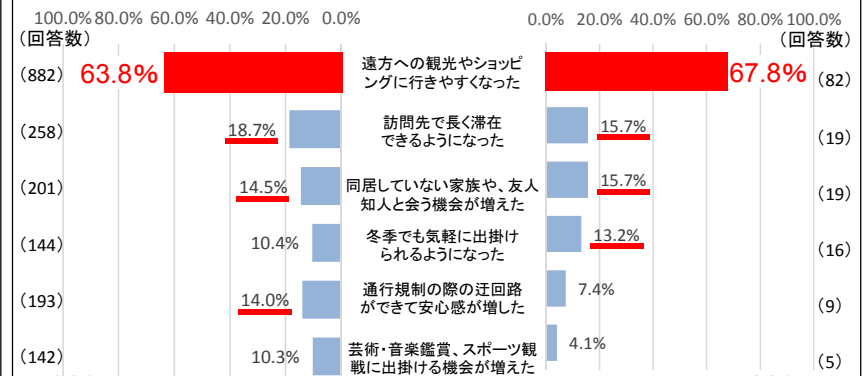
※備北地域: 三次市、庄原市
※H24は未調査

日常生活で開通による効果を実感

▼尾道松江線開通による生活への影響や変化(H26)

【島根県東部の住民】

【備北地域の住民】

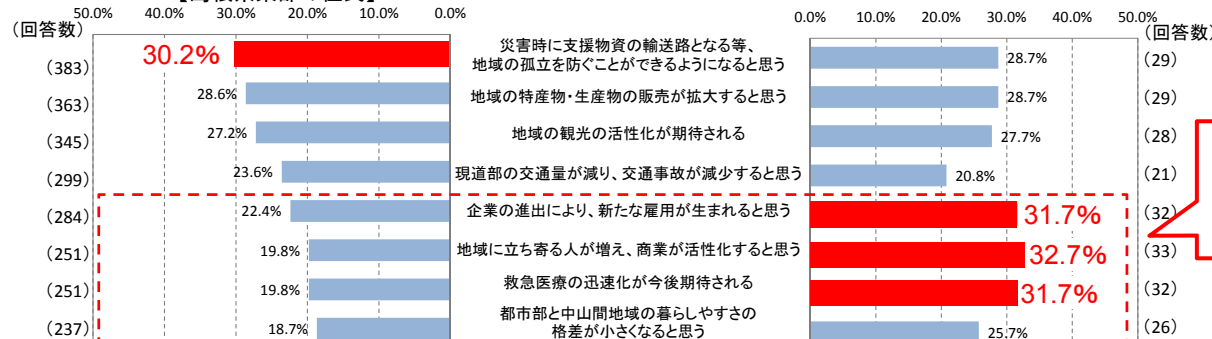


(回答者数=1,383) (回答者数=121)
主な選択項目を抜粋して掲載

全線開通時の期待は備北地域で高い ▼全線開通により期待される地域への効果(H26)

【島根県東部の住民】

【備北地域の住民】



島根県東部と比較し、「雇用の創出」や「商業活性化」「都市部と中山間地域の格差解消」を特に期待

(回答者数=1,268)

(回答者数=101)

2. 整備効果(住民生活)

～地域間の交流が年々増加しています～

- ・これまでの開通により、特に島根県の住民が、遠方への訪問頻度が増加しています。
- ・増加した地域として、島根県からは広島・呉、三次・庄原地域、広島市および備後地域からは松江・出雲地域への訪問が増加しており、全線開通後は、島根県と備後地域(福山・尾道等)との交流増加が期待されます。

島根県と広島市・備後地域との交流は年々増加



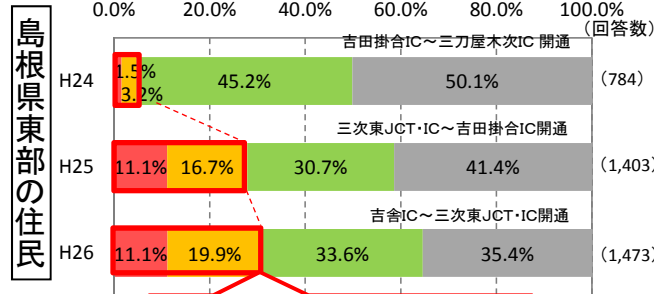
地域の声(住民)

- ・広島に親戚が多くあり、お互いに行き来が便利になった。(島根県雲南市 60代男性)
- ・松江、出雲のショッピングモールによく行くようになった。尾道松江線には道の駅も併設してあるので道中も楽しい。(島根県奥出雲町 30代男性)
- ・広島市内からは、三次から松江までが開通したことで、大幅に時間が短縮し、山陰出張が非常に便利になりました。(広島県広島市 40代男性)

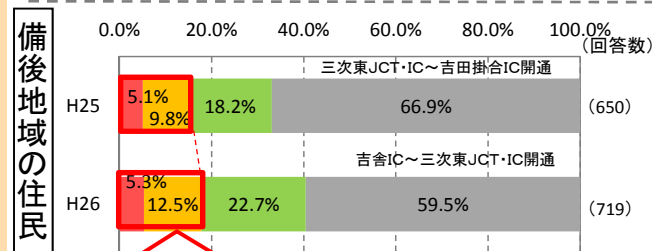
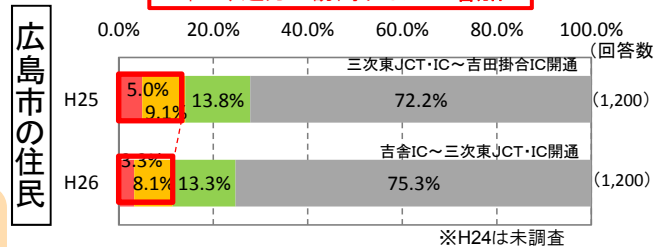
H26住民へのアンケート調査結果より

▼尾道松江線開通による遠方(県外)への訪問頻度

■増えた ■少し増えた ■変わらない ■尾道松江線を利用していない・無回答



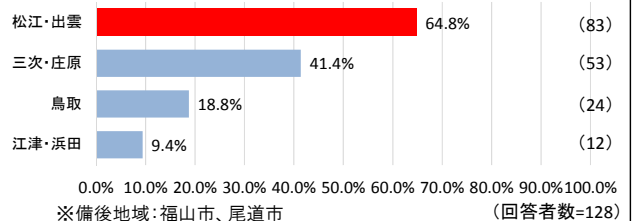
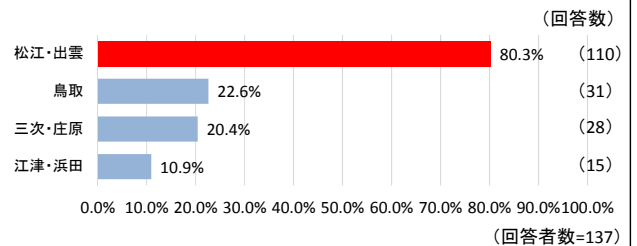
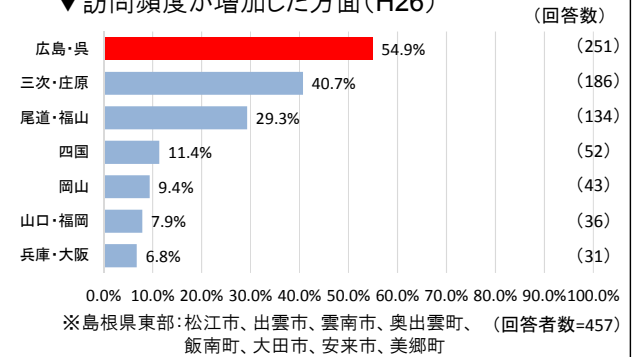
年々、遠方へ訪問する人が増加



遠方へ訪問する人が増加

※H24は未調査

▼訪問頻度が増加した方面(H26)

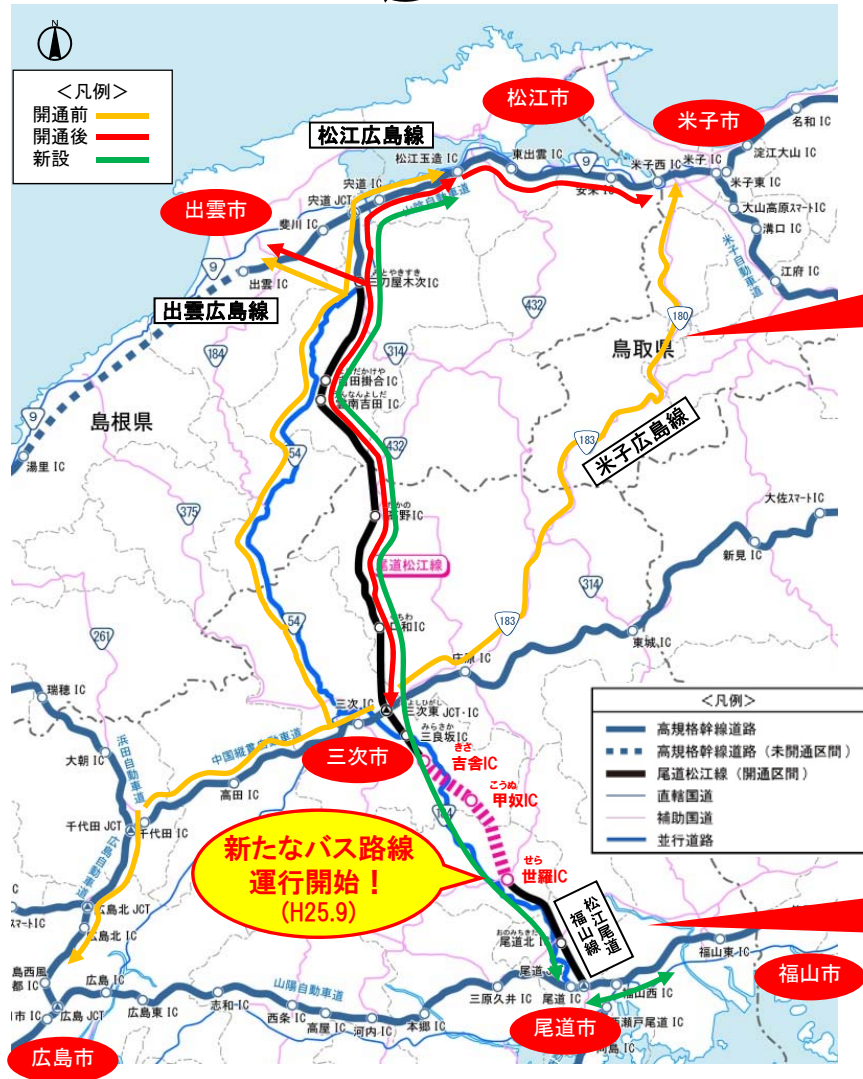


2. 整備効果(住民生活)

～高速バスの利便性が向上しています～

・これまでの開通により、松江～尾道・福山間の高速バス路線が新設(平成25年9月)され、利用者数も増加傾向にあり、高速バスの利便性の向上が図られています。全線開通により、更なる利便性の向上が期待されます。

高速バスの「利便性向上」⇄「利用者数増加」の好循環を創出



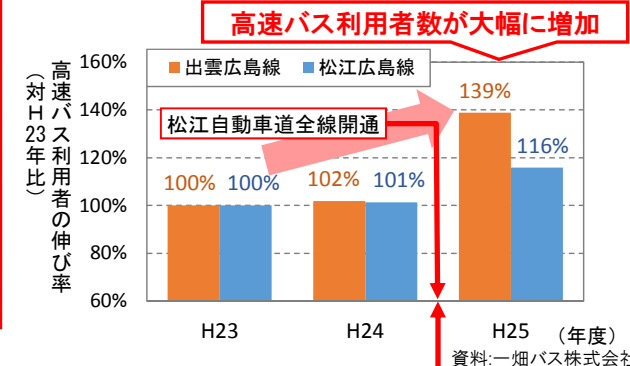
▼高速バス路線の経路変更

▼高速バス路線の新設 「H25.9.1スタート」

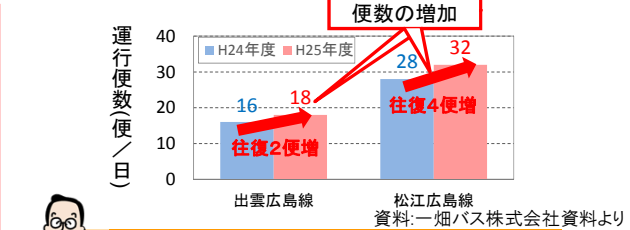
地域の声(住民)

・実家の親の介護のため広島松江間を行き来しているが**高速バスの時間が短縮され、便数が増えてありがたい。**(広島県広島市 60代女性)
H26住民へのアンケート調査結果より

▼松江市・出雲市と広島市間を運行する 高速バス利用者数の増加率(対H23年比)



▼運行便数の増加



地域の声(一畑バス株式会社)

・昨年の、吉舎IC～三次東JCT/IC間の開通で、松江から尾道・福山に行く便は、**約15分の時間短縮効果がありました。**
・尾道松江線を利用した経路に変更したことで、時間短縮のほか、**安全性の向上、燃料費等の経費削減、定時制の確保、乗り心地の改善**などの効果を感じています。
H26ヒアリング結果より

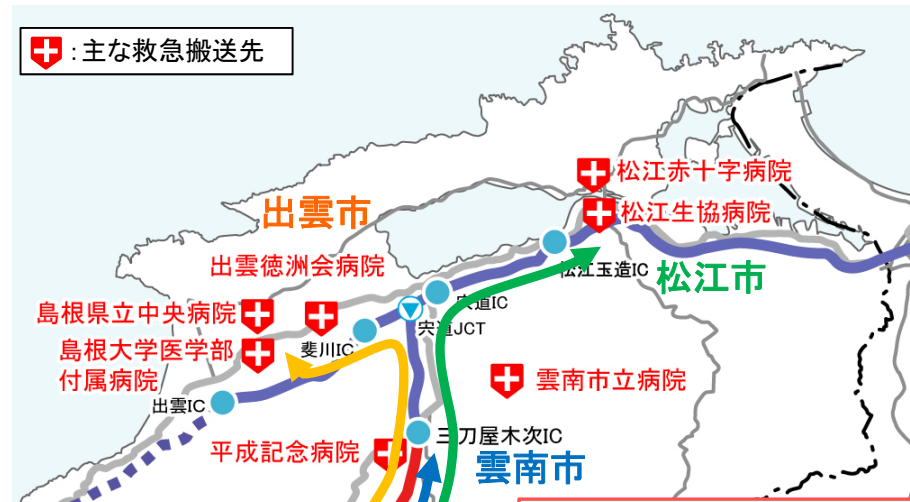
2. 整備効果(住民生活)

～搬送患者の負担を軽減するなど救急救命活動を支援しています～

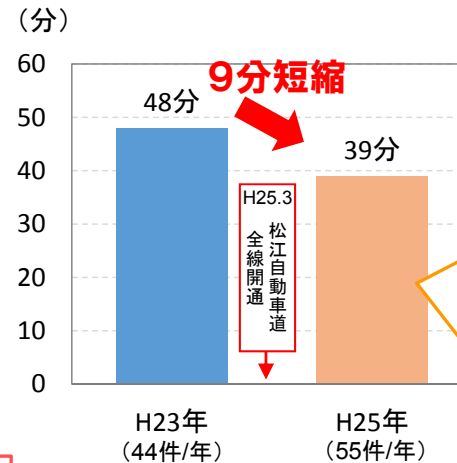
- ・尾道松江線は、救急搬送においても利用されており、救急時の搬送時間が大幅に減少しています。
- ・尾道松江線を利用することで、搬送時間短縮に加え、車の揺れや振動の減少により、患者の負担軽減や搬送中の救急活動の障害が軽減するなど、救急救命活動を支援しています。

救急搬送時間が大幅に減少

▼雲南市吉田町吉田・民谷からの主な救急搬送先

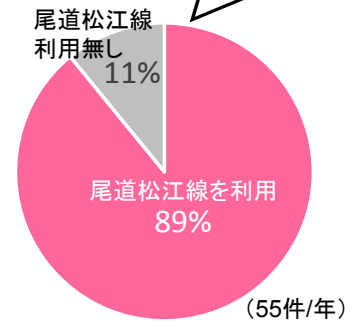


▼雲南市吉田町吉田・民谷からの救急搬送時間(実績)

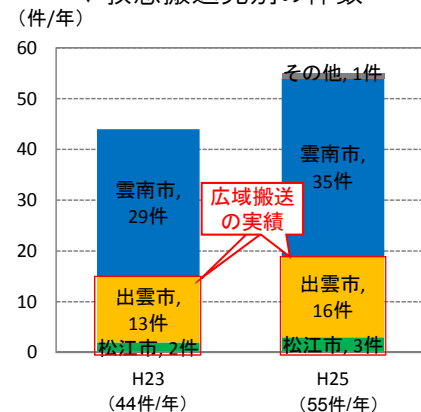


▼救急搬送時の尾道松江線利用割合

尾道松江線の利用割合 約9割



▼救急搬送先別の件数



地域の声(雲南消防本部)

- ・雲南市吉田町吉田・民谷からは、ほとんどが尾道松江線を利用して救急搬送を行っている。
- ・1分1秒を争う救急搬送で、尾道松江線の開通により、医療機関に迅速に搬送できるようになった。
- ・時間短縮のほか、車内の振動や揺れの低減による傷病者の痛みの緩和、心臓マッサージ時の活動障害の軽減、救命器具の脱落防止等、救急搬送時における負担軽減を実感している。

H26ヒアリング結果より

2. 整備効果(地域活性化)

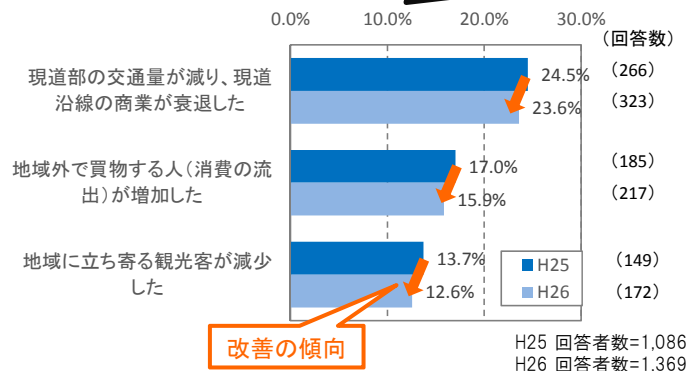
～国道54号沿線地域への活性化に向けた取組みが行われています～

- ・尾道松江線の開通により、並行する道路の交通量減少に伴う、沿線地域の衰退を懸念する意見が挙がっています。
- ・並行する道路沿線では、サイクリングロードの整備や、新たな集客施設の整備などの取組みが進んでおり、尾道松江線の開通と、これら取組みが連携することで、地域全体の活性化が期待されます。

懸念されている“負の影響”

▼尾道松江線の開通により実感される地域への負の影響

尾道松江線に並行する国道54号・国道184号等の交通量減少に伴う沿線地域への影響を懸念する声も多い。



※島根県東部:松江市、出雲市、雲南市、奥出雲町、飯南町、大田市、安来市、美郷町
備北地域:三次市と庄原市

▼国道54号沿での取組みに対する期待の声

サイクリングロード試走会参加者の声

- ・**もっとコースが認知され**、地元の商店等の協力を得られると、**交流が生まれリピーターが増える**と思います。(40代男性)
- ・**道の駅が各所にあり**、トイレや飯の心配事が無い事は**魅力的**。(40代男性)
- ・**走りごたえがあり**、**景色も堪能**できた。(20代男性)

サイクリングロード試走会(H25.9.29開催)参加者へのアンケート調査結果より

国道54号の活性化に向けた取組み

▼国道54号を軸としたサイクリングロードの整備に向けた取組み

■試走会・関連イベントを実施

イベント名	開催日	参加人数
試走会	H25.9.29	約20名
道の駅グルメライド in中国山地	H26.10.5	236名
チャリガール集合! ご縁結びしめ縄ライド	H26.11.16	21名

・試走会の様子



・ご縁結びしめ縄ライドの様子



写真:島根県HP

■整備基本計画の策定

国道54号の軸となるルートと周遊9コースを設定



資料:島根県

整備着手へ向け、実施計画を策定予定

▼飯南町の取組み(大しめなわ創作館の開館)



地域の声(飯南町産業振興課)

- ・尾道松江線整備により、**飯南町が通過点となる**ことが懸念されていました。
- ・町内では、出雲大社等の大しめ縄を制作しており、**伝統文化の継承と観光資源としての活用**を目的に、当館を整備しました。
- ・開館後**3ヶ月間で約1万人以上**の方に来館頂きました。

飯南町大しめなわ創作館 (H26.9開館)



写真:施設HP

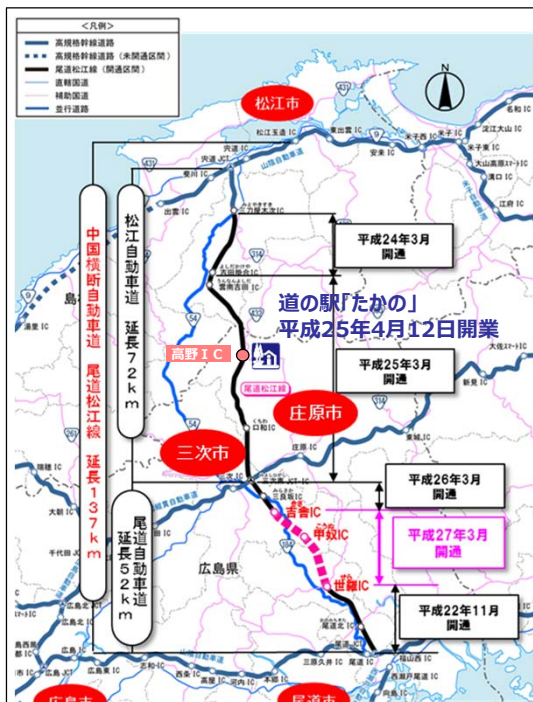
H26ヒアリング結果より

2. 整備効果(地域活性化)

～道の駅「たかの」が地域の活動拠点となっています～

- ・松江自動車道開通にあわせ開業した道の駅「たかの」では、年間約44万人が来客するなど地域の主要な観光施設となっています。
- ・従業員の約7割が地元雇用であり、地域の特産品販売をはじめ、オリジナル商品の開発など地域の活動拠点として、にぎわいを創出。

地域拠点となる道の駅



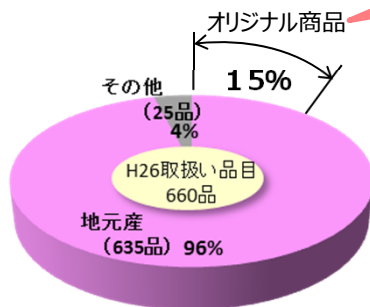
▼年間来客者数及び売上げ高

年間 約44万人が来客 (当初目標の約2倍)
年間 約480百万円の売上げ

資料) 来客者数: 道の駅施設内のレジ通過者数
売上げ高: 道の駅施設内の売上げ
集計期間はいずれも H25.4.12 (開業) ~ H26.3.31間

▼販売取扱い品目

取扱品の9割以上が地元産品、
約2割がオリジナル商品



資料) 庄原市ヒアリング

▼道の駅「たかの」内にある雪室 (ゆきむろ)

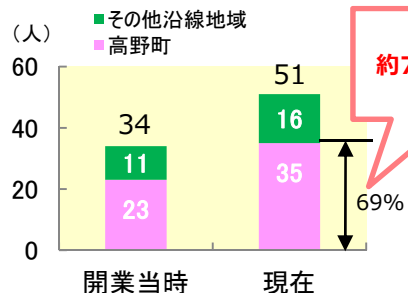


オリジナル商品を「高野の逸品」と称し、地域の魅力のブランド化100品目を目標に開発

雪の降る里・庄原の雪を活かしたユニークな自然の冷蔵庫
地域の特産品 (米、そば)、加工品 (ジュース、地酒) の鮮度保ち熟成
⇒オリジナル商品に付加価値を付けて販売



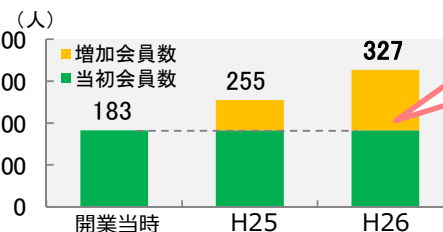
▼道の駅従業員の居住地



資料) 道の駅ヒアリング

※その他沿線地域とは、高野町以外の庄原市、又は三次市居住者

▼道の駅「たかの」への出荷者数推移



資料) 出荷者協議会会員数

出荷者協議会では、道の駅の商品出荷販売のほか、地域内外交流、地域ブランドの情報発信等を実施

▼地元文化・魅力の発信



ひばしにわかぐら
比婆斎庭神楽 公演
(広島県無形文化財/雪どけまつり)

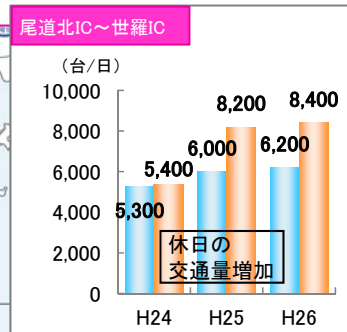
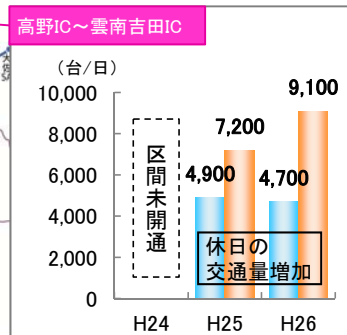
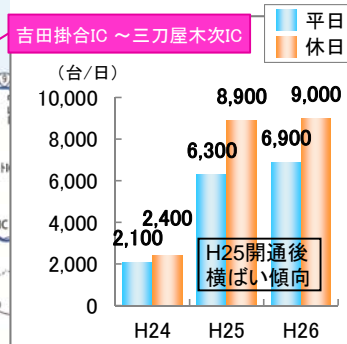
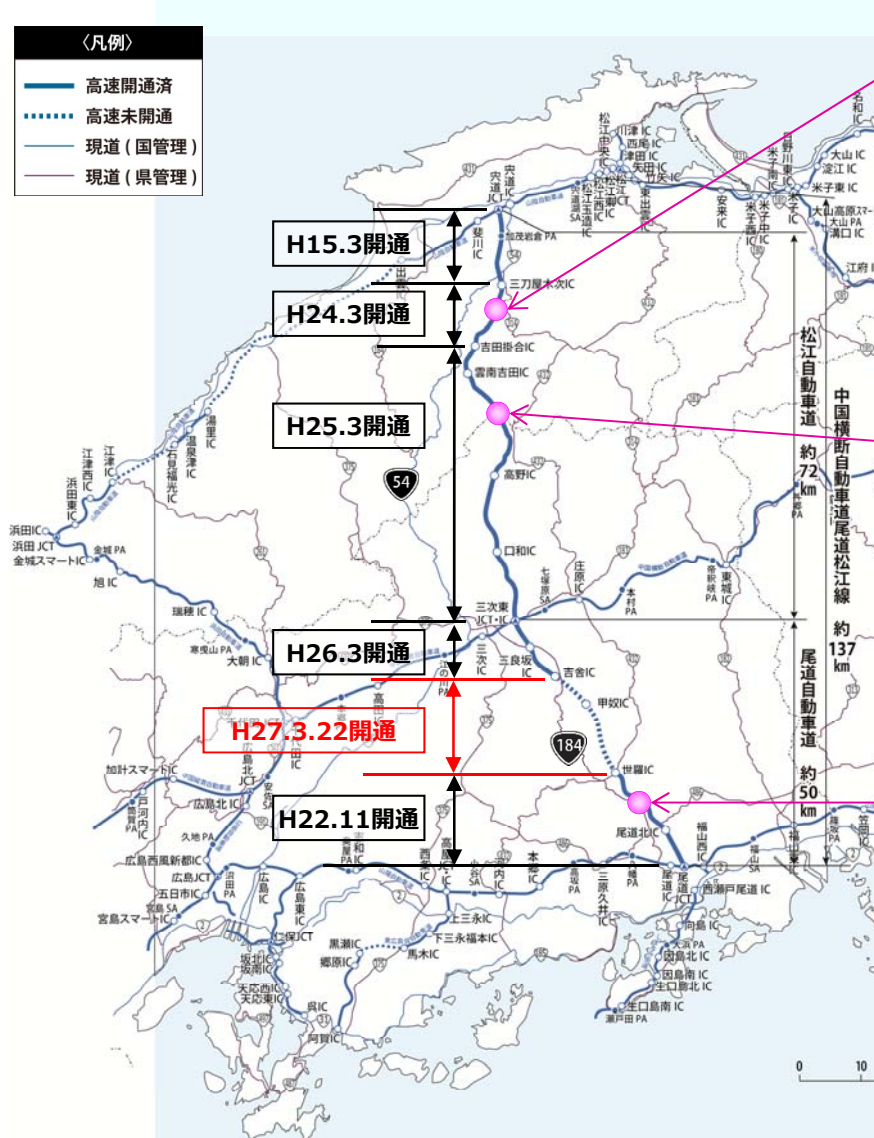
3. 交通量の推移

1) 尾道松江線本線の交通量推移

- ・尾道松江線の本線部は平日3,200～7,000台/日、休日5,000～13,800台/日の利用交通があります。
- ・松江自動車道が全線開通(H25.3)後の平成25年度と比べ、平日は概ね横ばい傾向、休日は増加した区間があります。

〈凡例〉

- 高速開通済
- 高速未開通
- 現道(国管理)
- 現道(県管理)



▼平日交通量(H24～H26)

区間	交通量(台/日)			H26/H25 伸び率
	H24 (10.24(水))	H25 (10.2(水))	H26 (10.1(水))	
松江自動車道				
吉田掛合IC～三刀屋木次IC	2,100	6,300	6,900	1.10
高野IC～雲南吉田IC	—	4,900	4,700	0.96
口和IC～高野IC	—	5,500	5,800	1.05
三次東JCT・IC～口和IC	—	7,200	7,000	0.97
尾道自動車道				
三良坂IC～三次東JCT・IC	—	—	3,200	—
吉舎IC～三良坂IC	—	—	3,700	—
尾道北IC～世羅IC	5,300	6,000	6,200	1.03

注)「—」(グレー着色)は交通量観測時未開通

▼休日交通量(H24～H26)

区間	交通量(台/日)			H26/H25 伸び率
	H24 (10.28(日))	H25 (9.29(日))	H26 (10.19(日))	
松江自動車道				
吉田掛合IC～三刀屋木次IC	2,400	8,900	9,000	1.01
高野IC～雲南吉田IC	—	7,200	9,100	1.26
口和IC～高野IC	—	8,100	10,400	1.28
三次東JCT・IC～口和IC	—	9,700	13,800	1.42
尾道自動車道				
三良坂IC～三次東JCT・IC	—	—	5,000	—
吉舎IC～三良坂IC	—	—	6,400	—
尾道北IC～世羅IC	5,400	8,200	8,400	1.02

注)「—」(グレー着色)は交通量観測時未開通

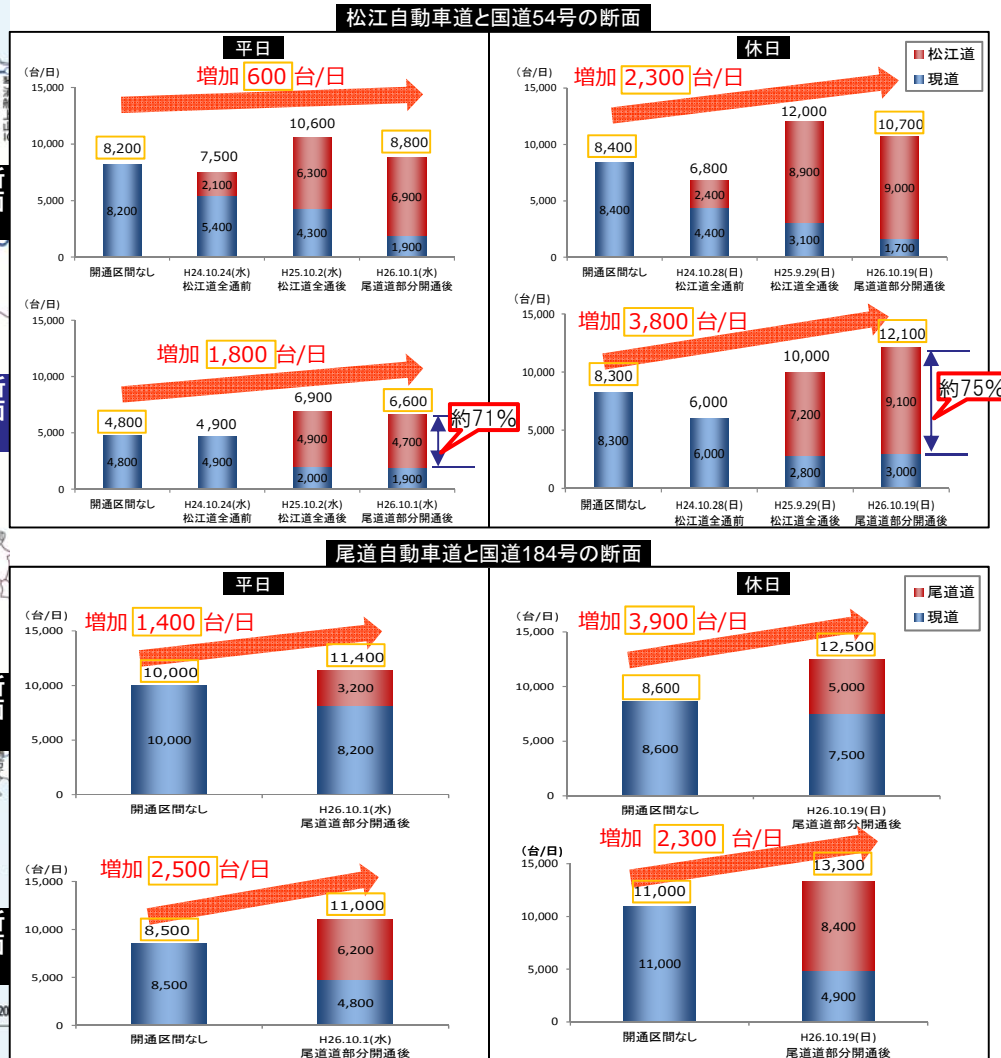
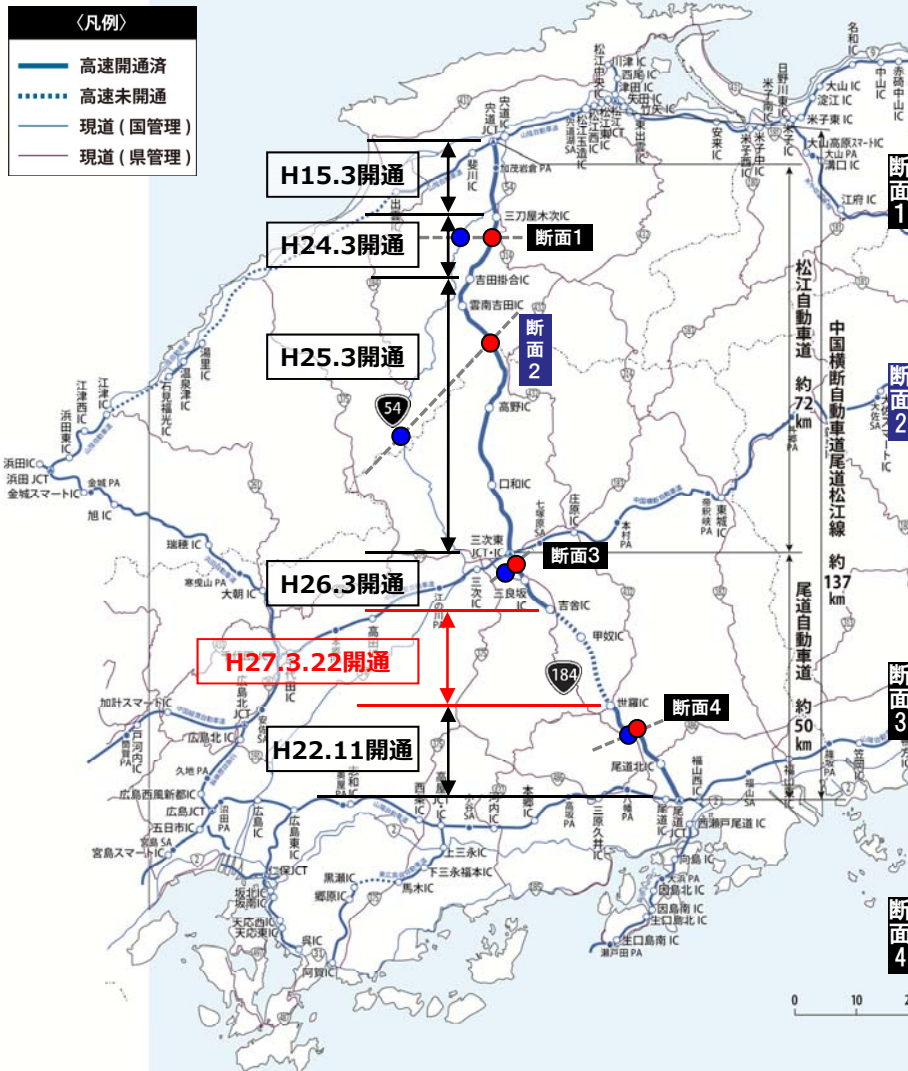
▲尾道松江線主要断面の交通量推移

3. 交通量の推移

尾道松江線

2) 断面交通量の推移

- ・尾道松江線の整備(尾道自動車道部分開通)により、尾道松江線と既存現道の断面交通量は、整備前に比べ増加傾向(平日600~2,500台/日、休日2,300台/日~3,900台/日)にあります。
- ・また、広島・島根県境断面(断面2・国道54号及び尾道松江線)では断面交通の約7~8割が尾道松江線を利用しています。



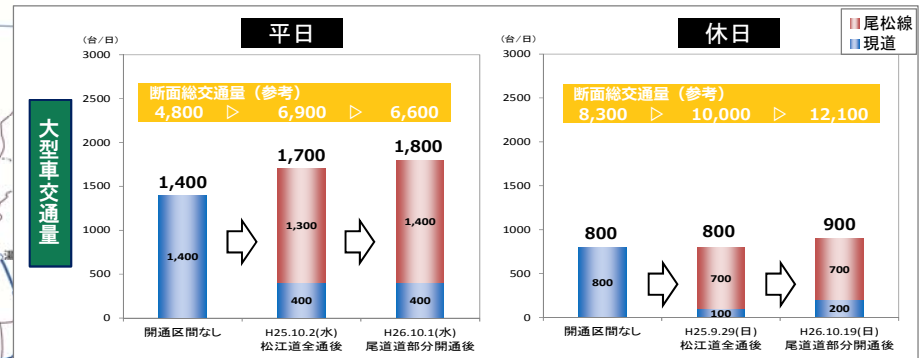
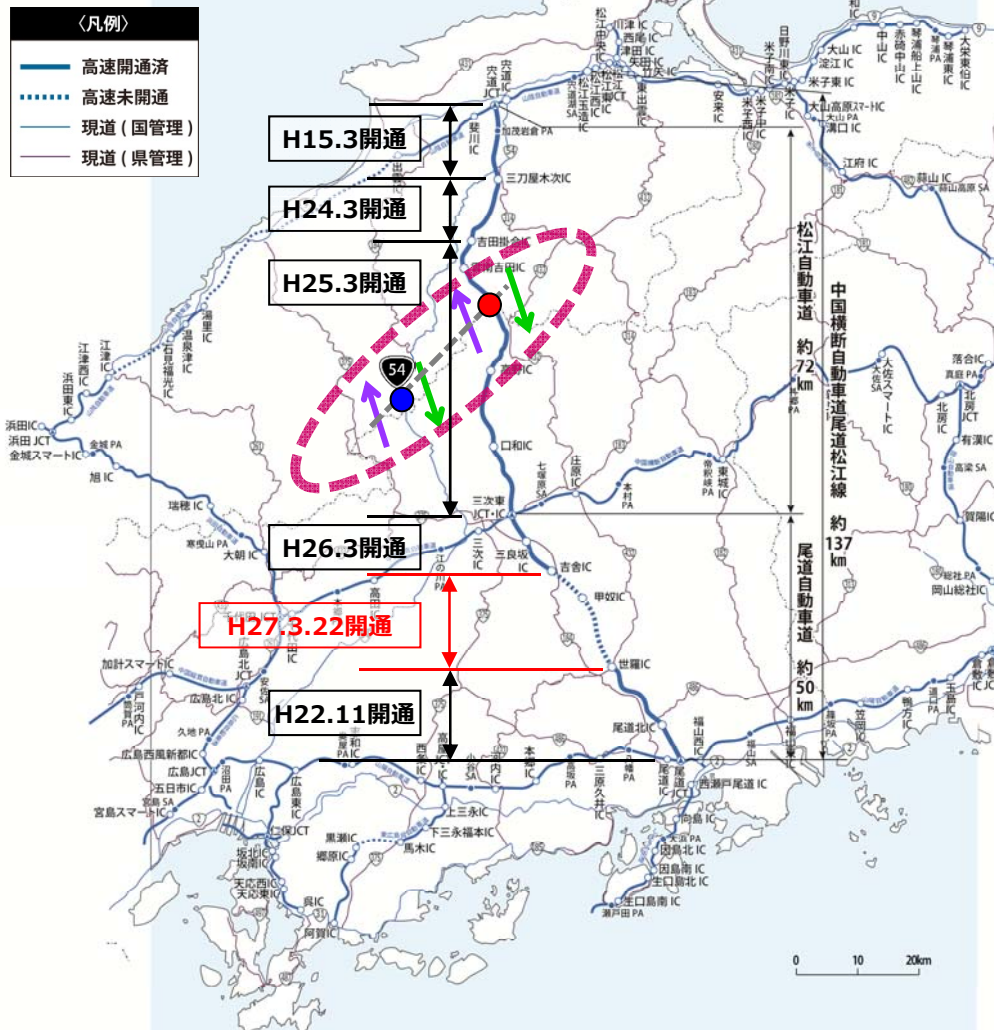
▲尾道松江線と現道の主要断面の交通量推移

3. 交通量の推移

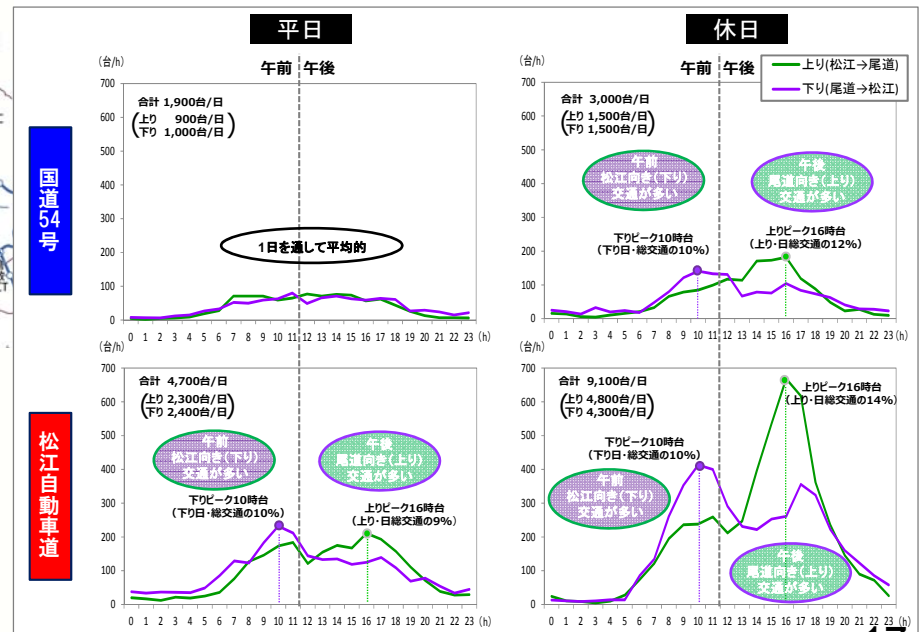
尾道松江線

3) 県境断面交通量の推移

- ・広島・島根県境の断面(国道54号及び尾道松江線)では、断面の総交通量の推移のほか、平日の大型車交通が増加しており、このことから県境を跨ぐ物流が増えていることが伺えます。
- ・また、方向別の時間交通量を比較すると、国道54号の休日及び尾道松江線(松江自動車道)では、午前中は下り方向(松江向き)、午後(夕方)は上り方向(尾道向き)の利用交通が多い傾向にあります。



▲大型車交通量推移

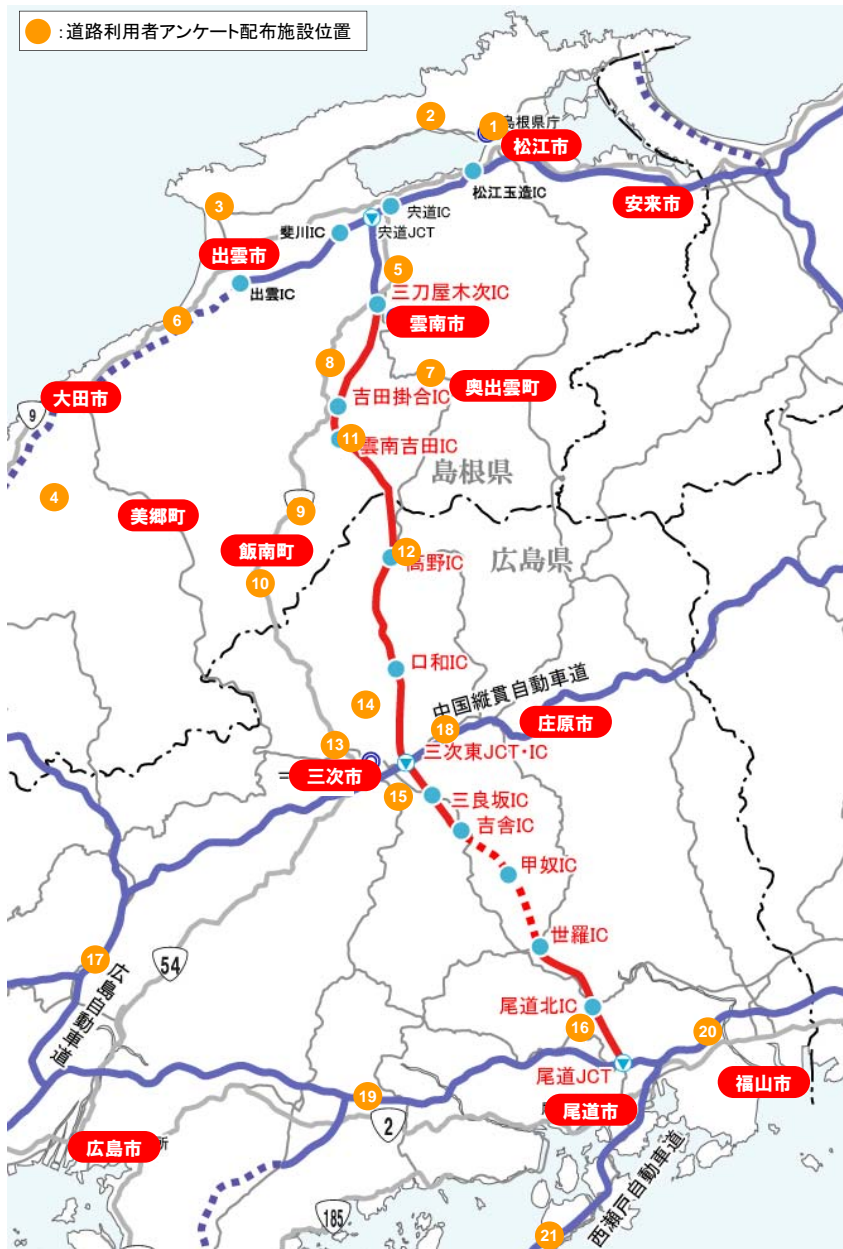


▲時間変動(平日: H26.10.1(水) 休日: H26.10.19(日))

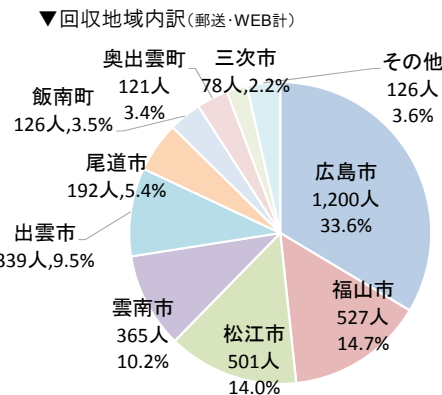
【参考資料】アンケート調査の実施概要(H26)

尾道松江線

調査対象地域・箇所



住民アンケート: 郵送配布・郵送回収および、WEBによるアンケートを実施



事業所アンケート: 郵送配布・郵送回収によるアンケートを実施

アンケート実施期間: 平成26年11月21日～12月15日

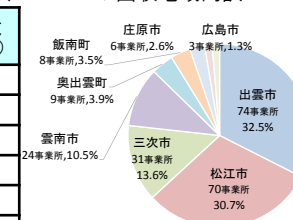
▼アンケートの配布・回収数内訳

地域	配布数(事業所)	回収数(事業所)	回収率
島根県			
松江市	285	70	24.6%
出雲市	243	74	30.5%
雲南市	61	24	39.3%
奥出雲町	31	9	29.0%
飯南町	16	8	50.0%
広島県			
三次市	93	31	33.3%
庄原市	9	6	66.7%
広島市	66	3	4.5%
その他	314	3	1.0%
合計	1118	228	20.4%

▼アンケートの回収業種内訳

業種	回収数(事業所)
製造業	91
運輸業	37
卸売業	14
小売業	27
飲食サービス業	27
その他	32
合計	228

▼回収地域内訳



道路利用者アンケート: 手渡し配布・郵送回収によるアンケートを実施

アンケート実施期間: 平成26年10月12日～10月26日

▼アンケートの配布数内訳

配布施設(島根県側)	配布数(人)	配布施設(広島県側)	配布数(人)
①松江城周辺	300	⑫道の駅たかの	700
②松江フォーゲルパーク	100	⑬道の駅ゆめランド布野	388
③出雲大社	400	⑭道の駅ふおレスト君田	344
④石見銀山世界遺産センター	200	⑮三次ワイナリー	800
⑤道の駅さくらの里さすき	200	⑯道の駅みつづ	328
⑥道の駅キララ多伎	400	⑰安佐SA(上り)	500
⑦道の駅おろちの里	200	⑱七塚原SA(下り)	300
⑧道の駅掛合の里	148	⑲小谷SA(上り)	500
⑨道の駅頓原	200	⑳福山SA(下り)	500
⑩道の駅赤来高原	153	㉑瀬戸田PA(上り)	300
⑪道の駅たらば壺番地	300	広島県側合計	4,660
島根県側合計	2,601	全施設合計	7,261

▼アンケートの回収数内訳

地域	回答数(人)
島根県	
松江市	51
出雲市	33
雲南市	25
奥出雲町	3
飯南町	2
その他	30
広島県	
広島市	199
福山市	66
尾道市	42
三次市	49
庄原市	9
その他	160
合計	940